

### 第3章 くらしの満足度【問7】

#### 1 重要度【問7】

身近な生活に関する38項目について、どの程度重要だと感じているかを尋ねた。項目ごとに重要度を「非常に重要である」から「まったく重要ではない」までの5段階で回答してもらった。

なお、回答選択肢は、「非常に重要である」「かなり重要である」「どちらともいえない」「さほど重要でない」「まったく重要ではない」の5区分に「分からない」を加えた6区分とした。

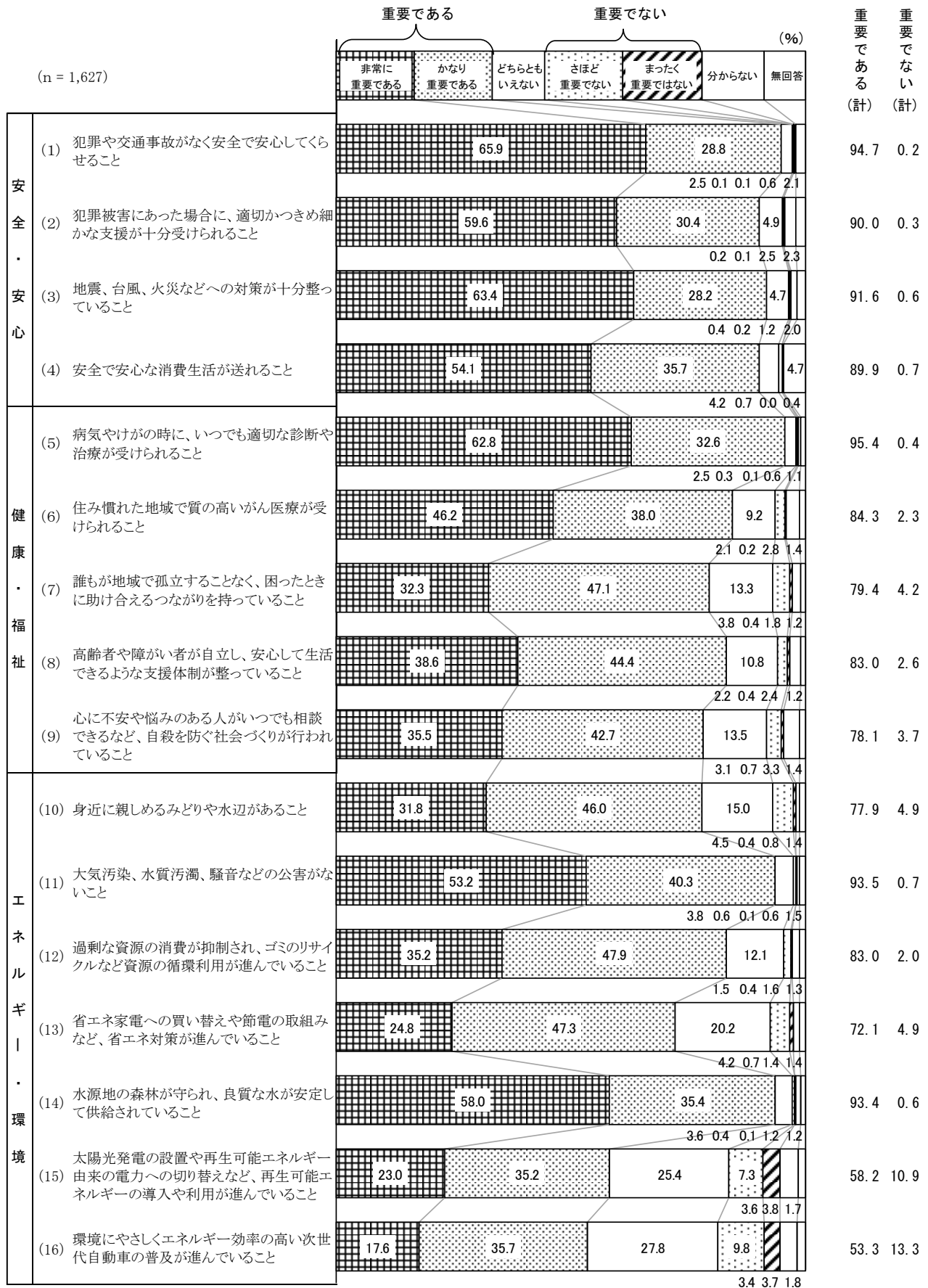
#### 【全体の状況】

項目別の重要度の回答状況は、図表3-1-1に示すとおりである。

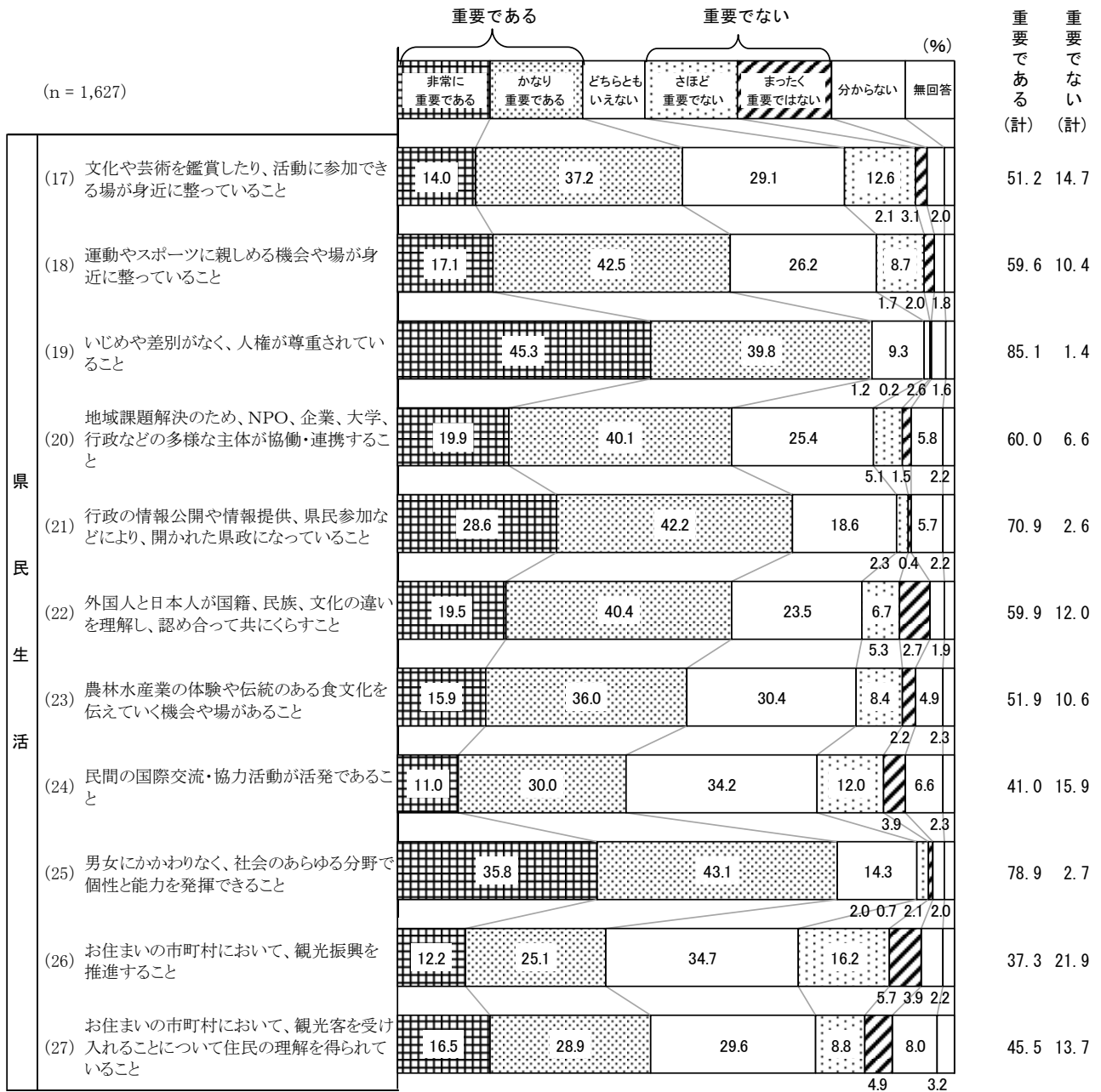
「非常に重要である」と「かなり重要である」を合わせた《重要である》と「さほど重要でない」と「まったく重要ではない」を合わせた《重要でない》を比較すると、すべての項目で《重要である》が《重要でない》を上回った。

《重要である》をみると、「(5) 病気やけがの時に、いつでも適切な診断や治療が受けられること」が95.4%で最も多く、「(1) 犯罪や交通事故がなく安全で安心してくらせること」(94.7%)、「(11) 大気汚染、水質汚濁、騒音などの公害がないこと」(93.5%)が続いた。(図表3-1-1)

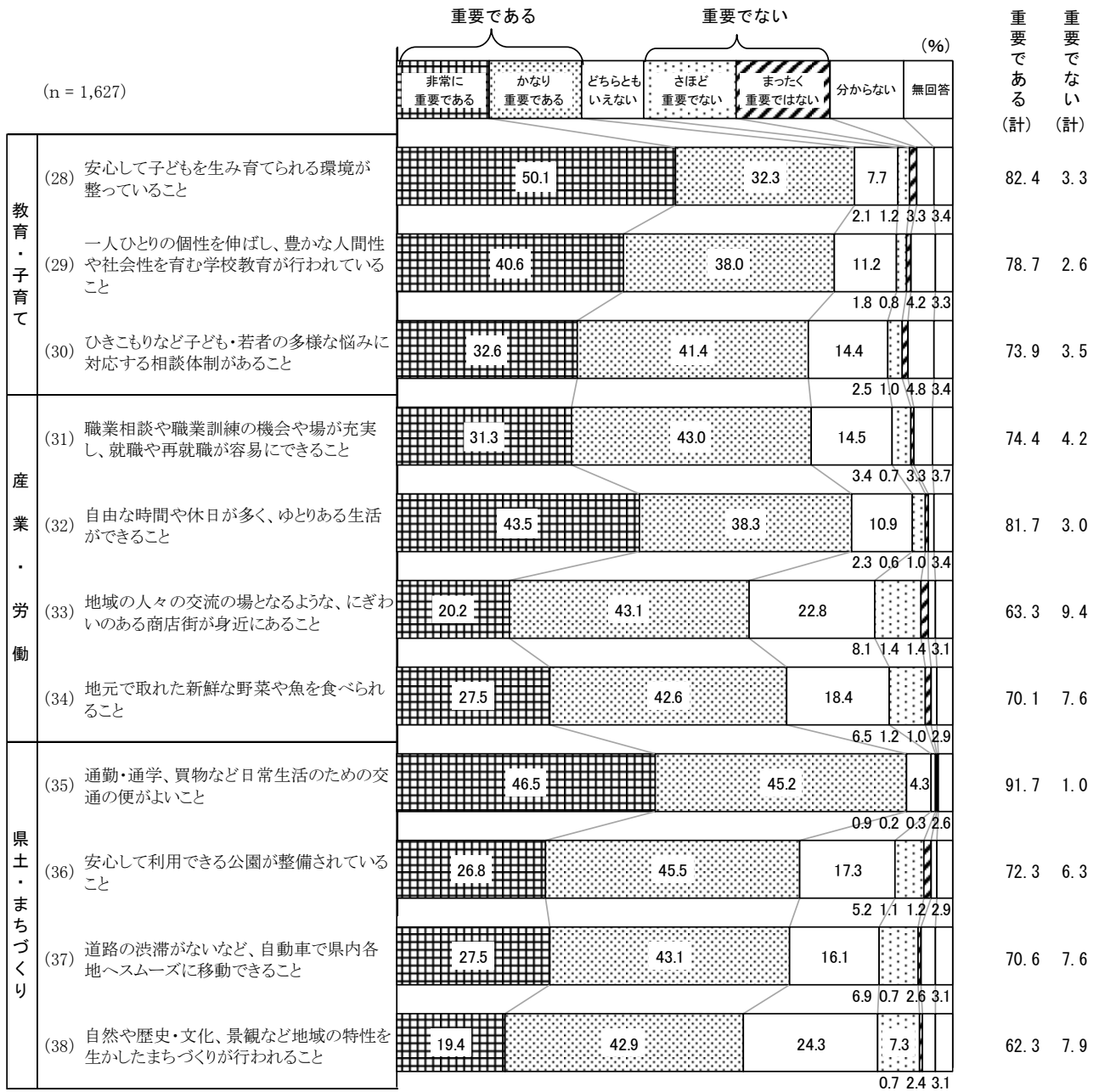
図表3-1-1 重要度



図表3-1-1 重要度（つづき）



図表3-1-1 重要度（つづき）



## 【過去との比較】

《重要である》の上位10項目について過去の調査と比較すると、順位において多少の変動はあるが上位9項目は前回調査と同じ項目となった。(図表3-1-2)

図表3-1-2 重要度《重要である》の上位10項目－過去との比較

	令和3年度(n = 1,503)	令和4年度(n = 1,404)	令和5年度(n = 1,241)	令和6年度(n = 1,206)	令和7年度(n = 1,627)
1位	病气やけがの時に、いつでも適切な診断や治療が受けられること(95.2%)	病气やけがの時に、いつでも適切な診断や治療が受けられること(94.4%)	病气やけがの時に、いつでも適切な診断や治療が受けられること(94.4%)	病气やけがの時に、いつでも適切な診断や治療が受けられること(94.9%)	病气やけがの時に、いつでも適切な診断や治療が受けられること(95.4%)
2位	犯罪や交通事故がなく安全で安心してらせること	犯罪や交通事故がなく安全で安心してらせること(94.3%)	犯罪や交通事故がなく安全で安心してらせること(92.7%)	犯罪や交通事故がなく安全で安心してらせること(94.5%)	犯罪や交通事故がなく安全で安心してらせること(94.7%)
3位	大気汚染、水質汚濁、騒音などの公害がないこと	大気汚染、水質汚濁、騒音などの公害がないこと(92.0%)	大気汚染、水質汚濁、騒音などの公害がないこと(91.7%)	通勤・通学、買物など日常生活のための交通の便がよいこと(93.8%)	大気汚染、水質汚濁、騒音などの公害がないこと(93.5%)
4位	水源地の森林が守られ、良質な水が安定して供給されていること(92.7%)	水源地の森林が守られ、良質な水が安定して供給されていること(91.5%)	水源地の森林が守られ、良質な水が安定して供給されていること(90.4%)	大気汚染、水質汚濁、騒音などの公害がないこと(92.3%)	水源地の森林が守られ、良質な水が安定して供給されていること(93.4%)
5位	地震、台風、火災などへの対策が十分整っていること(90.6%)	通勤・通学、買物など日常生活のための交通の便がよいこと(91.0%)	通勤・通学、買物など日常生活のための交通の便がよいこと(90.0%)	水源地の森林が守られ、良質な水が安定して供給されていること(91.6%)	通勤・通学、買物など日常生活のための交通の便がよいこと(91.7%)
6位	通勤・通学、買物など日常生活のための交通の便がよいこと(90.1%)	地震、台風、火災などへの対策が十分整っていること(90.4%)	安全で安心な消費生活が送れること(88.4%)	犯罪被害にあった場合に、適切かつきめ細かな支援が十分受けられること(90.1%)	地震、台風、火災などへの対策が十分整っていること(91.6%)
7位	犯罪被害にあった場合に、適切かつきめ細かな支援が十分受けられること(87.9%)	犯罪被害にあった場合に、適切かつきめ細かな支援が十分受けられること(90.3%)	地震、台風、火災などへの対策が十分整っていること(87.5%)	地震、台風、火災などへの対策が十分整っていること	犯罪被害にあった場合に、適切かつきめ細かな支援が十分受けられること(90.0%)
8位	住み慣れた地域で質の高いがん医療が受けられること(85.4%)	いじめや差別がなく、人権が尊重されていること(84.9%)	犯罪被害にあった場合に、適切かつきめ細かな支援が十分受けられること(86.8%)	安全で安心な消費生活が送れること(89.4%)	安全で安心な消費生活が送れること(89.9%)
9位	いじめや差別がなく、人権が尊重されていること(85.2%)	住み慣れた地域で質の高いがん医療が受けられること(83.0%)	いじめや差別がなく、人権が尊重されていること(83.1%)	いじめや差別がなく、人権が尊重されていること(85.7%)	いじめや差別がなく、人権が尊重されていること(85.1%)
10位	ゴミの分別やリサイクルが進んでいること(84.3%)	安心して子どもを産み育てられる環境が整っていること(82.4%)	住み慣れた地域で質の高いがん医療が受けられること(82.4%)	安心して子どもを産み育てられる環境が整っていること(82.3%)	住み慣れた地域で質の高いがん医療が受けられること(84.3%)

※「ゴミの分別やリサイクルが進んでいること」は令和5年度より削除

「安全で安心な消費生活が送れること」は令和5年度より追加

※各項目の過去との比較については、図表A（93～102 ページ）を参照

図表3-1-3 重要度《重要である》の上位項目―地域別

※図表中の丸数字は、その地域における順位を表す。

(番号) 項目  地 域 上段：順位 下段：(%)	(5)	(1)	(11)	(14)	(35)	(3)	(2)	(4)
	な病 診気 断や けが 治の 療時 がに 受け られ つて も適 切	し犯 て罪 くや らせ 交通 事故 がなく 安全で 安心	公大 害気 が汚 染、 水質 汚濁、 騒音 などの	が水 安源地 定の森 林が 守られ て、良 質な水	た通 勤の・ 交通学 の、買 物など 日常生活 の	十地 分震、 台風、 火災な どへの 対策が	るつ ことき め被害 にあつ た場合 に、適 切に	と安全 で安心 な消費 生活が 送れるこ
全 体 (n=1,627)	① 95.4	② 94.7	③ 93.5	④ 93.4	⑤ 91.7	⑥ 91.6	⑦ 90.0	⑧ 89.9
横 浜 (n= 617)	① 95.9	② 95.6	④ 93.4	③ 93.5	④ 93.4			
川 崎 (n= 237)	① 94.5	① 94.5	③ 93.2	④ 92.8	④ 92.8			
相模原 (n= 107)	① 95.3	② 94.4	④ 93.5		④ 93.5	② 94.4		
横須賀三浦 (n= 144)	① 95.1	① 95.1	① 95.1	④ 93.1				⑤ 91.7
県 央 (n= 150)	① 94.7	④ 92.0	② 93.3	③ 92.7		⑤ 90.0	⑤ 90.0	
湘 南 (n= 235)	① 96.2	③ 95.3	④ 94.5	① 96.2		⑤ 93.6		
県 西 (n= 73)	② 95.9	① 98.6	③ 93.2	③ 93.2		③ 93.2	③ 93.2	

※各項目の地域別の状況については、県民ニーズ調査のホームページに掲載しています。

(県民ニーズ調査： <https://www.pref.kanagawa.jp/docs/h3e/cnt/f3489/>)

※図表中の丸数字は、その性・年代における順位を表す。

※各項目の性・年代別の状況については、県民ニーズ調査のホームページに掲載しています。  
(県民ニーズ調査：<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/h3e/cnt/f3489/>)

## 2 満足度【問7】

「重要度」で尋ねた項目と同じ38項目について、どの程度満たされていると感じているかを尋ねた。項目ごとに「十分満たされている」から「ほとんど満たされていない」までの5段階で回答してもらった。

なお、回答選択肢は「十分満たされている」「かなり満たされている」「どちらともいえない」「あまり満たされていない」「ほとんど満たされていない」の5区分に「分からない」を加えた6区分とした。

### 【全体の状況】

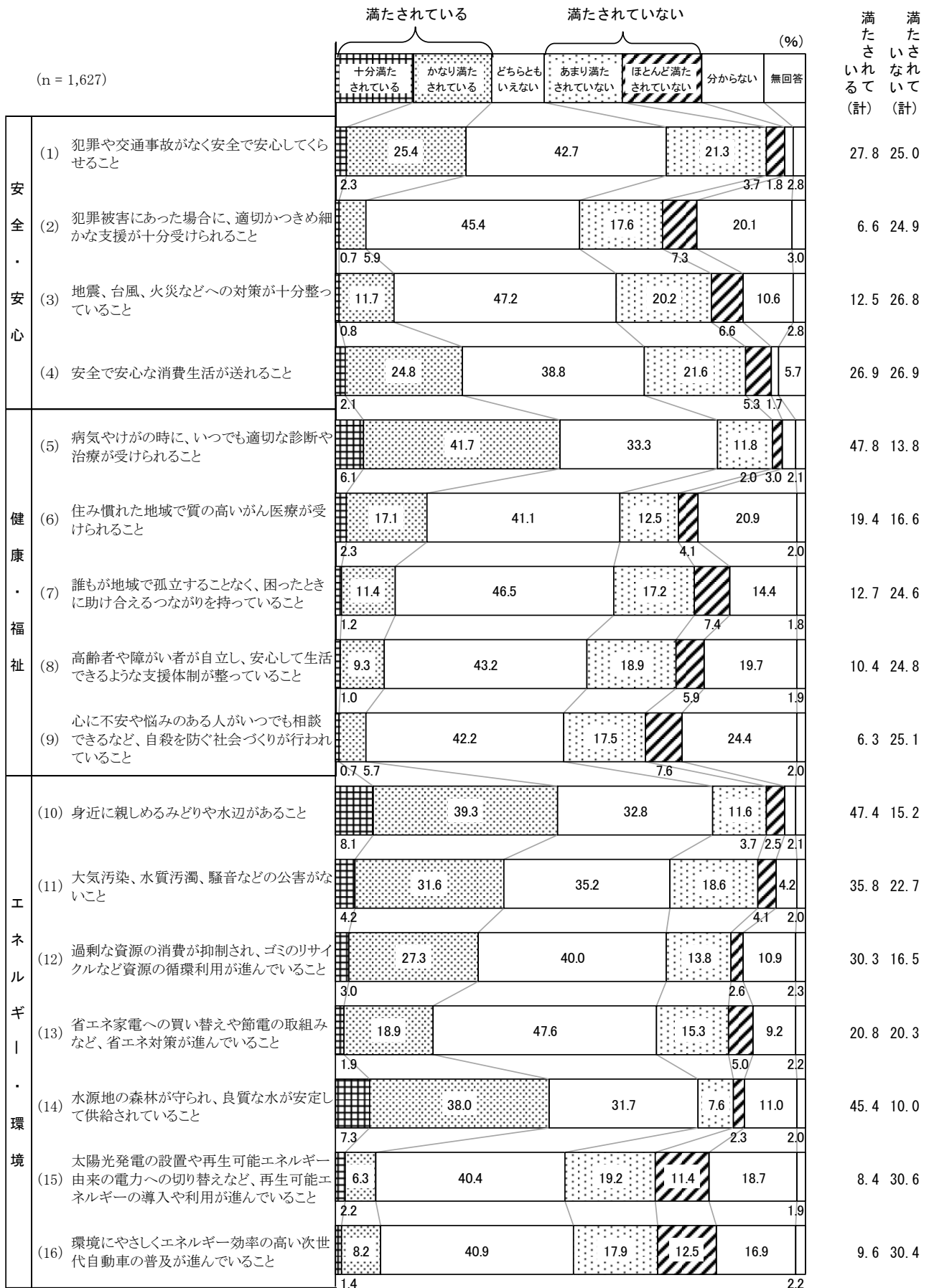
項目別の満足度の回答状況は、図表3-2-1に示すとおりである。

「十分満たされている」と「かなり満たされている」を合わせた《満たされている》は、「(35) 通勤・通学、買物など日常生活のための交通の便がよいこと」が50.6%で最も多く、「(5) 病気やけがの時に、いつでも適切な診断や治療が受けられること」(47.8%)、「(10) 身近に親しめるみどりや水辺があること」(47.4%)が続いた。

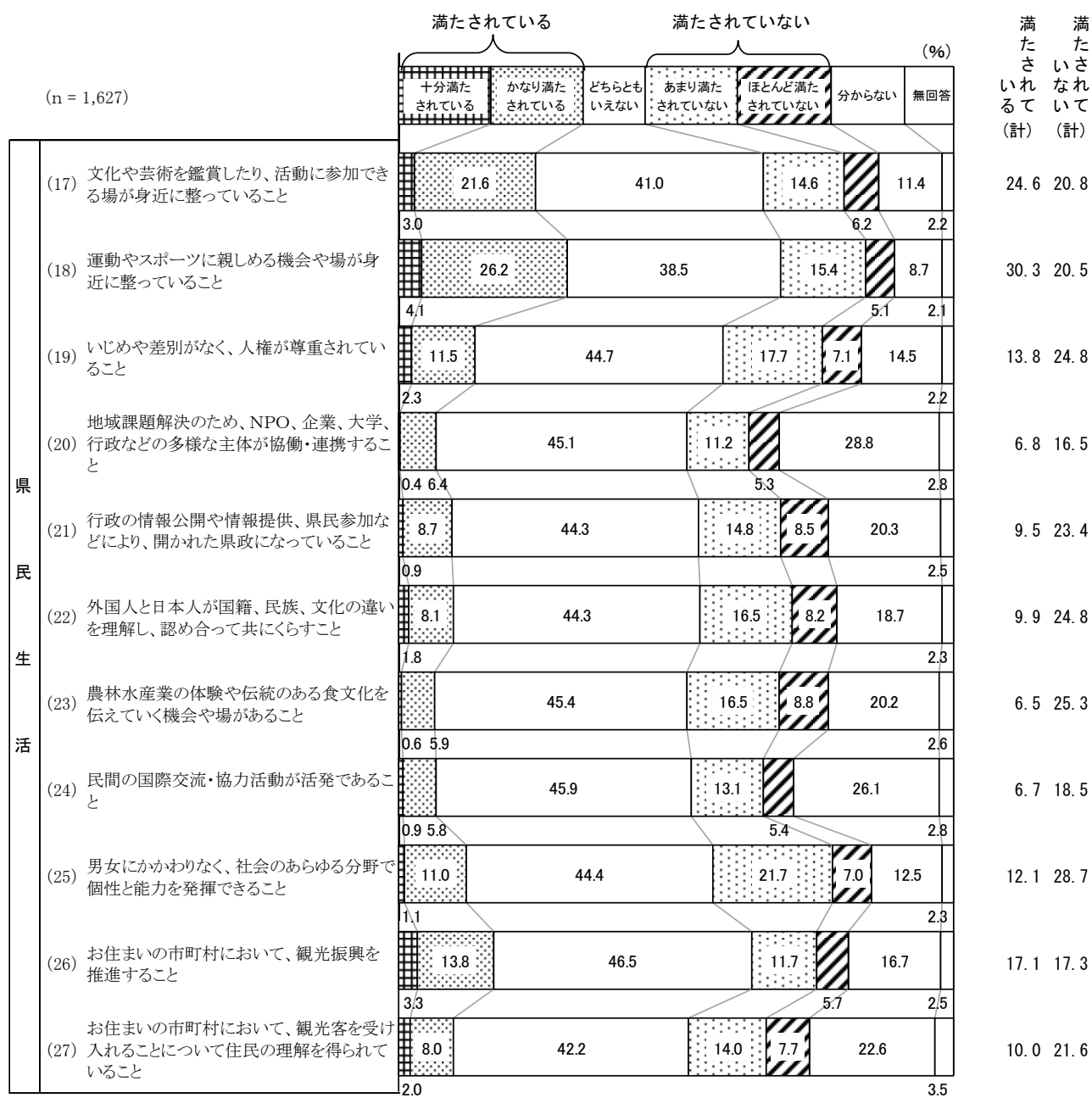
「ほとんど満たされていない」と「あまり満たされていない」を合わせた《満たされていない》は、「(33) 地域の人々の交流の場となるような、にぎわいのある商店街が身近にあること」が40.8%で最も多く、「(37) 道路の渋滞がないなど、自動車で県内各地へスムーズに移動できること」(33.7%)、「(32) 自由な時間や休日が多く、ゆとりある生活ができること」(31.8%)が続いた。(図表3-2-1)



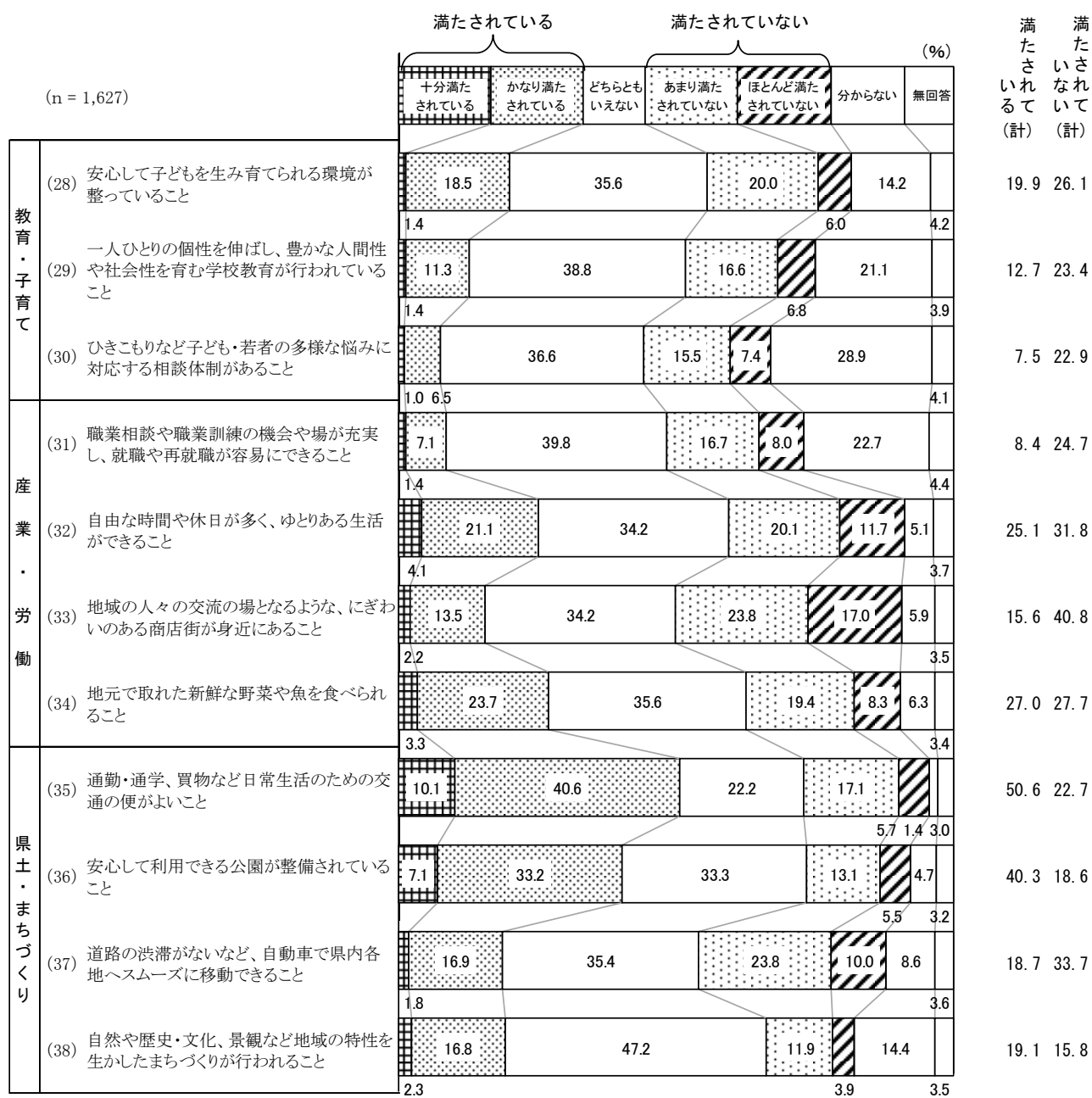
図表3-2-1 満足度



図表3-2-1 満足度（つづき）



図表3-2-1 満足度（つづき）



## 【過去との比較】

《満たされている》の上位10項目について過去の調査と比較すると、順位において多少の変動はあるが上位9項目は前回調査と同じ項目となった。(図表3-2-2)

図表3-2-2 満足度《満たされている》の上位10項目－過去との比較

	令和3年度 (n = 1,503)	令和4年度 (n = 1,404)	令和5年度 (n = 1,241)	令和6年度 (n = 1,206)	令和7年度 (n = 1,627)
1位	ゴミの分別やリサイクルが進んでいること (52.2%)	ゴミの分別やリサイクルが進んでいること	通勤・通学、買物など日常生活のための交通の便がよいこと (50.4%)	通勤・通学、買物など日常生活のための交通の便がよいこと (51.1%)	通勤・通学、買物など日常生活のための交通の便がよいこと (50.6%)
2位	通勤・通学、買物など日常生活のための交通の便がよいこと (49.2%)	通勤・通学、買物など日常生活のための交通の便がよいこと (50.6%)	身近に親しめるみどりや水辺があること (48.2%)	病気やけがの時に、いつでも適切な診断や治療が受けられること (48.3%)	病気やけがの時に、いつでも適切な診断や治療が受けられること (47.8%)
3位	身近に親しめるみどりや水辺があること (47.4%)	身近に親しめるみどりや水辺があること (47.3%)	水源地の森林が守られ、良質な水が安定して供給されていること (46.2%)	身近に親しめるみどりや水辺があること (47.8%)	身近に親しめるみどりや水辺があること (47.4%)
4位	病気やけがの時に、いつでも適切な診断や治療が受けられること (43.8%)	病気やけがの時に、いつでも適切な診断や治療が受けられること (47.0%)	病気やけがの時に、いつでも適切な診断や治療が受けられること (45.0%)	水源地の森林が守られ、良質な水が安定して供給されていること (45.2%)	水源地の森林が守られ、良質な水が安定して供給されていること (45.4%)
5位	水源地の森林が守られ、良質な水が安定して供給されていること (43.4%)	水源地の森林が守られ、良質な水が安定して供給されていること (43.7%)	安心して利用できる公園が整備されていること (37.8%)	安心して利用できる公園が整備されていること (41.4%)	安心して利用できる公園が整備されていること (40.3%)
6位	安心して利用できる公園が整備されていること (36.8%)	安心して利用できる公園が整備されていること (38.2%)	大気汚染、水質汚濁、騒音などの公害がないこと (32.2%)	大気汚染、水質汚濁、騒音などの公害がないこと (37.2%)	大気汚染、水質汚濁、騒音などの公害がないこと (35.8%)
7位	大気汚染、水質汚濁、騒音などの公害がないこと (30.3%)	大気汚染、水質汚濁、騒音などの公害がないこと (33.4%)	安全で安心な消費生活が送れること (28.6%)	過剰な資源の消費が抑制され、ゴミのリサイクルなど資源の循環利用が進んでいること (32.1%)	過剰な資源の消費が抑制され、ゴミのリサイクルなど資源の循環利用が進んでいること
8位	地元で取れた新鮮な野菜や魚を食べられること (29.1%)	犯罪や交通事故がなく安全で安心してくらせること (29.0%)	過剰な資源の消費が抑制され、ゴミのリサイクルなど資源の循環利用が進んでいること (27.6%)	犯罪や交通事故がなく安全で安心してくらせること (30.3%)	運動やスポーツに親しめる機会や場が身近に整っていること (30.3%)
9位	運動やスポーツに親しめる機会や場が身近に整っていること (28.1%)	運動やスポーツに親しめる機会や場が身近に整っていること (28.1%)	犯罪や交通事故がなく安全で安心してくらせること (26.6%)	運動やスポーツに親しめる機会や場が身近に整っていること (29.1%)	犯罪や交通事故がなく安全で安心してくらせること (27.8%)
10位	犯罪や交通事故がなく安全で安心してくらせること (26.8%)	地元で取れた新鮮な野菜や魚を食べられること (27.9%)	運動やスポーツに親しめる機会や場が身近に整っていること (25.8%)	安全で安心な消費生活が送れること (28.4%)	地元で取れた新鮮な野菜や魚を食べられること (27.0%)

※「ゴミの分別やリサイクルが進んでいること」は令和5年度より削除

「安全で安心な消費生活が送れること」、「過剰な資源の消費が抑制され、ゴミのリサイクルなど資源の循環利用が進んでいること」は令和5年度より追加

※各項目の過去との比較については、図表B（103～112 ページ）を参照

《満たされていない》の上位10項目について過去の調査と比較すると、順位において多少の変動はあるが上位9項目は前回調査と同じ項目となった。(図表3-2-3)

図表3-2-3 満足度《満たされていない》の上位10項目－過去との比較

	令和3年度 (n = 1,503)	令和4年度 (n = 1,404)	令和5年度 (n = 1,241)	令和6年度 (n = 1,206)	令和7年度 (n = 1,627)
1位	地域の人々の交流の場となるような、にぎわいのある商店街が身近にあること(43.2%)	地域の人々の交流の場となるような、にぎわいのある商店街が身近にあること(44.4%)	地域の人々の交流の場となるような、にぎわいのある商店街が身近にあること(40.5%)	地域の人々の交流の場となるような、にぎわいのある商店街が身近にあること(39.2%)	地域の人々の交流の場となるような、にぎわいのある商店街が身近にあること(40.8%)
2位	道路の渋滞がないなど、自動車で県内各地へスムーズに移動できること(38.2%)	自由な時間や休日が多く、ゆとりある生活ができること(35.5%)	自由な時間や休日が多く、ゆとりある生活ができること(35.0%)	道路の渋滞がないなど、自動車で県内各地へスムーズに移動できること(34.5%)	道路の渋滞がないなど、自動車で県内各地へスムーズに移動できること(33.7%)
3位	自由な時間や休日が多く、ゆとりある生活ができること(36.2%)	道路の渋滞がないなど、自動車で県内各地へスムーズに移動できること(34.3%)	太陽光発電の設置や再生可能エネルギー由来の電力への切り替えなど、再生可能エネルギーの導入や利用が進んでいること(34.9%)	自由な時間や休日が多く、ゆとりある生活ができること(34.1%)	自由な時間や休日が多く、ゆとりある生活ができること(31.8%)
4位	環境にやさしくエネルギー効率の高い次世代自動車の普及が進んでいること(33.8%)	太陽光発電など再生可能エネルギーの普及が進んでいること(33.5%)	男女にかかわらず、社会のあらゆる分野で個性と能力を発揮できること(34.6%)	環境にやさしくエネルギー効率の高い次世代自動車の普及が進んでいること(31.6%)	太陽光発電の設置や再生可能エネルギー由来の電力への切り替えなど、再生可能エネルギーの導入や利用が進んでいること(30.6%)
5位	男女にかかわらず、社会のあらゆる分野で個性と能力を発揮できること(32.4%)	男女にかかわらず、社会のあらゆる分野で個性と能力を発揮できること(33.3%)	道路の渋滞がないなど、自動車で県内各地へスムーズに移動できること	地震、台風、火災などへの対策が十分整っていること(30.5%)	環境にやさしくエネルギー効率の高い次世代自動車の普及が進んでいること(30.4%)
6位	太陽光発電など再生可能エネルギーの普及が進んでいること(32.3%)	高齢者や障がい者がくらしやすい住宅の整備やまちづくりがされていること	環境にやさしくエネルギー効率の高い次世代自動車の普及が進んでいること(32.6%)	太陽光発電の設置や再生可能エネルギー由来の電力への切り替えなど、再生可能エネルギーの導入や利用が進んでいること(30.3%)	男女にかかわらず、社会のあらゆる分野で個性と能力を発揮できること(28.7%)
7位	高齢者や障がい者がくらしやすい住宅の整備やまちづくりがされていること(31.9%)	環境にやさしくエネルギー効率の高い次世代自動車の普及が進んでいること(32.8%)	高齢者や障がい者が自立し、安心して生活できるような支援体制が整っていること(29.0%)	男女にかかわらず、社会のあらゆる分野で個性と能力を発揮できること(28.9%)	地元で取れた新鮮な野菜や魚を食べられること(27.7%)
8位	安心して子どもを生み育てられる環境が整っていること(30.0%)	安心して子どもを生み育てられる環境が整っていること(31.9%)	心に不安や悩みのある人がいつでも相談できるなど、自殺を防ぐ社会づくりが行われていること	安心して子どもを生み育てられる環境が整っていること(28.4%)	安全で安心な消費生活が送れること(26.9%)
9位	一人ひとりの個性を伸ばし、豊かな人間性や社会性を育む学校教育が行われていること(29.5%)	一人ひとりの個性を伸ばし、豊かな人間性や社会性を育む学校教育が行われていること(29.4%)	誰もが地域で孤立することなく、困ったときに助け合えるつながりを持っていること(28.8%)	地元で取れた新鮮な野菜や魚を食べられること(27.8%)	地震、台風、火災などへの対策が十分整っていること(26.8%)
10位	職業相談や職業訓練の機会や場が充実し、就職や再就職が容易にできること(29.3%)	高齢者や障がい者が自立し、安心して生活できるような支援体制が整っていること(28.3%)	地震、台風、火災などへの対策が十分整っていること(28.3%)	心に不安や悩みのある人がいつでも相談できるなど、自殺を防ぐ社会づくりが行われていること 一人ひとりの個性を伸ばし、豊かな人間性や社会性を育む学校教育が行われていること(26.5%)	安心して子どもを生み育てられる環境が整っていること(26.1%)

※「高齢者や障がい者がくらしやすい住宅の整備やまちづくりがされていること」は令和5年度より削除

※「太陽光発電の設置や再生可能エネルギー由来の電力への切り替えなど、再生可能エネルギーの導入や利用が進んでいること」は令和5年度より追加

※各項目の過去との比較については、図表B（103～112 ページ）を参照

※図表中の丸数字は、その地域における順位を表す。

(番号) 項目  地 域  上段：順位 下段：(%)	(35)	(5)	(10)	(14)	(36)	(11)	(12)	(34)
	い生活 このた めの通 学、買 物の交 通の便 が日常	らも病 れ適気 る切や るなけ が診の や時の 治療 がいつ で	辺身 が近に ある親 しめる みどり や水	て質水 いる源 ことが 地のが 森林安 定して 守られ 、供給 され良	整備心 されて 利用で きる公 園が	な大気 の汚染 、公害 がない こと騒 音	る資 源の、 過剰な 資源の 消費が 抑制さ れるこ と	る資 源の、 過剰な 資源の 消費が 抑制さ れるこ と
全 体 (n=1,627)	① 50.6	② 47.8	③ 47.4	④ 45.4	⑤ 40.3	⑥ 35.8	⑦ 30.3	⑩ 27.0
横 浜 (n= 617)	① 57.5	② 49.1	③ 45.7	⑤ 45.2	④ 45.4			
川 崎 (n= 237)	① 63.7	② 50.6	⑤ 36.3	④ 37.1	③ 38.8			
相模原 (n= 107)	⑤ 43.0	② 47.7	④ 43.9	① 50.5	② 47.7			
横須賀三浦 (n= 144)		② 47.9	① 56.3	④ 38.2		⑤ 35.4		③ 45.1
県 央 (n= 150)	② 46.7	⑤ 36.7	① 50.0	③ 44.0	④ 43.3			
湘 南 (n= 235)	④ 42.6	③ 50.2	① 55.3	② 53.6	⑤ 40.9			⑤ 40.9
県 西 (n= 73)		④ 43.8	② 57.5	① 61.6		③ 46.6	⑤ 41.1	

(県民ニーズ調査：<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/h3e/cnt/f3489/>)

図表3-2-5 満足度《満たされていない》の上位項目―地域別

※図表中の丸数字は、その地域における順位を表す。

(番号) 項目  地 域 上段：順位 下段：(%)	(33)	(37)	(32)	(15)	(16)	(25)	(34)	(4)	(3)	(28)	(31)	(21)	(35)
	とに地域の人の交流の場となるようなこ	各地の渋滞がないなど、自動車でも県内	生活が自由な時間や休日が多く、ゆとりある	太陽光発電の設置や再生可能エネルギーの導入や利用が進んでいること	環境にやさしくエネルギー効率の高い次世代自動車の普及が進んでいること	分野で個性と能力を發揮できること	地元で取れた新鮮な野菜や魚を食べられること	安全で安心な消費生活が送れること	地震、台風、火災などへの対策が十分	が安心して子どもを産み育てられる環境	し、職業相談や再就職訓練の機会や場が充実	ることにより、開かれた県政になつてい	の通勤・通学、買物など日常生活のため
全 体 (n=1,627)	① 40.8	② 33.7	③ 31.8	④ 30.6	⑤ 30.4	⑥ 28.7	⑦ 27.7	⑧ 26.9	⑨ 26.8	⑩ 26.1	⑱ 24.7	⑳ 23.4	㉓ 22.7
横 浜 (n= 617)	① 38.1	③ 30.3	② 32.7			④ 30.0	⑤ 29.8						
川 崎 (n= 237)	① 40.9	④ 31.2	③ 31.6	⑤ 29.5			② 34.6						
相模原 (n= 107)	① 50.5	⑤ 37.4	③ 40.2				② 41.1			④ 38.3			
横須賀三浦 (n= 144)	② 41.0	① 43.8	④ 31.9	④ 31.9	④ 31.9	④ 31.9							③ 35.4
県 央 (n= 150)	① 42.7	② 38.7		④ 32.7	③ 36.0			④ 32.7					
湘 南 (n= 235)	① 41.7	② 38.7		④ 36.2	③ 37.9				⑤ 29.8				
県 西 (n= 73)	① 47.9		② 39.7	④ 32.9		④ 32.9					③ 37.0	④ 32.9	④ 32.9

※各項目の地域別の状況については、県民ニーズ調査のホームページに掲載しています。

(県民ニーズ調査： <https://www.pref.kanagawa.jp/docs/h3e/cnt/f3489/>)

図表3-2-6 満足度《満たされている》の上位項目－性・年代別

※図表中の丸数字は、その性・年代における順位を表す。

(番号) 項目 性・年代 上段：順位 下段：(%)	(35)	(5)	(10)	(14)	(36)	(11)	(12)	(18)	(1)
	の通 た勤 め・ の通 学、 通の 買物 がな どい 日常 と生 活	と切 な気 診や 断け やが 治の 療時 に、 受け い ら つ れ る も こ適	あ身 る近 こに と親 しめ る み ど り や 水 辺 が	と水 が源 地安 定の 森林 が 給守 さら れ、 良質 な	さ安 れ心 てし て 利用 でき る公 園が 整備	の大 気汚 染、 水質 汚濁、 騒音 など	環ゴ過 利ミ剰 用の リサ資 進ン源 んでの いる消 こと費 が抑 制さ れ、 資源 の循	や運 場動 がや ス 近 に 整 つ て 親 し め る 機 会	心犯 し罪 てや く交 通 事 故 が なく 安全 で安
全 体 (n=1,627)	① 50.6	② 47.8	③ 47.4	④ 45.4	⑤ 40.3	⑥ 35.8	⑦ 30.3	⑦ 30.3	⑨ 27.8
男 性 (n= 727)	① 51.6	② 48.3	③ 46.6	④ 44.7	⑤ 41.0				
女 性 (n= 809)	① 50.6	③ 48.2	② 48.3	④ 47.1	⑤ 40.5				
男性18～29歳 (n= 31)	② 58.1	① 61.3	③ 54.8			③ 54.8			③ 54.8
30歳代 (n= 73)	② 53.4	① 56.2	④ 47.9	③ 49.3				⑤ 45.2	
40歳代 (n= 122)	③ 43.4	① 45.9	① 45.9	⑤ 41.0	③ 43.4				
50歳代 (n= 179)	① 52.5	③ 40.2	② 48.6	④ 38.0	⑤ 36.9	⑤ 36.9			
60歳代 (n= 146)	① 55.5	② 46.6	③ 43.8	③ 43.8	⑤ 37.7				
70～74歳 (n= 76)	① 52.6	① 52.6	④ 48.7	③ 51.3	⑤ 42.1				
75歳以上 (n= 100)	③ 50.0	① 55.0	⑤ 43.0	② 54.0	④ 47.0				
女性18～29歳 (n= 48)	① 62.5	① 62.5	③ 47.9	③ 47.9				③ 47.9	
30歳代 (n= 105)	③ 51.4	① 55.2	② 54.3		④ 45.7	⑤ 41.9			
40歳代 (n= 171)	① 56.1	③ 47.4	② 52.0	⑤ 44.4	④ 46.2				
50歳代 (n= 191)	① 48.2	① 48.2	④ 46.1	③ 47.6	⑤ 39.3				
60歳代 (n= 140)	③ 42.9	③ 42.9	① 47.9	② 47.1		⑤ 40.0			
70～74歳 (n= 45)	③ 42.2	④ 35.6	② 46.7	① 53.3				⑤ 33.3	
75歳以上 (n= 106)	② 52.8	③ 49.1	④ 43.4	① 54.7		⑤ 41.5	⑤ 41.5		

※各項目の性・年代別の状況については、県民ニーズ調査のホームページに掲載しています。

(県民ニーズ調査： <https://www.pref.kanagawa.jp/docs/h3e/cnt/f3489/>)



図表3-2-7 満足度《満たされていない》の上位項目－性・年代別

※図表中の丸数字は、その性・年代における順位を表す。

(番号) 項目	(33)	(37)	(32)	(15)	(16)	(25)	(34)	(4)	(3)	(28)	(23)	(9)	(2)	(8)	(19)	(22)	(31)	(7)	(21)	(29)	(30)	(11)	(35)	(27)	(18)	(24)																			
	性・年代 上段：順位 下段：(%)	民間の国際交流・協力活動が活発であること																																											
地域の人々の交流の場となるような、にぎわいのある商店街があること	安全で安心な消費生活が送れること	地元で取れた新鮮な野菜や魚を食べられること	地震、台風、火災などへの対策が十分整っていること	安心して子どもを生育できる環境が整っていること	農林水産業の体験や伝統のある食文化を伝えていく機会や場があること	心に不安や悩みのある人がいつでも相談できるなど、自殺を防ぐ社会づくりが行われていること	犯罪被害にあった場合に、適切かつきめ細かな支援が十分受けられること	高齢者や障がい者が自立し、安心して生活できるような支援体制が整っていること	いじめや差別がなく、人権が尊重されていること	外国人と日本人が国籍、民族、文化の違いを理解し、認め合って共にくらすこと	誰もが地域で孤立することなく、困ったときに助け合えるつながりを持つていくこと	職業相談や職業訓練の機会や場が充実し、就職や再就職が容易にできること	行政の情報公開や情報提供、県民参加などにより、開かれた県政になつていくこと	誰しもが地域で孤立することなく、困ったときに助け合えるつながりを持つていくこと	一人ひとりの個性を伸ばし、豊かな人間性や社会性を育む学校教育が行われていること	ひきこもりなど子ども・若者の多様な悩みに対応する相談体制があること	大気汚染、水質汚濁、騒音などの公害がないこと	通勤・通学、買物など日常生活のための交通の便がよいこと	お住まいの市町村において、観光客を受け入れることについて住民の理解を得られていること	運動やスポーツに親しめる機会や場が身近に整っていること	住民の理解を得られていること	通動・通学、買物など日常生活のための交通の便がよいこと	大気汚染、水質汚濁、騒音などの公害がないこと	ひきこもりなど子ども・若者の多様な悩みに対応する相談体制があること	一人ひとりの個性を伸ばし、豊かな人間性や社会性を育む学校教育が行われていること	行政の情報公開や情報提供、県民参加などにより、開かれた県政になつていくこと	誰しもが地域で孤立することなく、困ったときに助け合えるつながりを持つていくこと	職業相談や職業訓練の機会や場が充実し、就職や再就職が容易にできること	外国人と日本人が国籍、民族、文化の違いを理解し、認め合って共にくらすこと	いじめや差別がなく、人権が尊重されていること	高齢者や障がい者が自立し、安心して生活できるような支援体制が整っていること	犯罪被害にあった場合に、適切かつきめ細かな支援が十分受けられること	心に不安や悩みのある人がいつでも相談できるなど、自殺を防ぐ社会づくりが行われていること	農林水産業の体験や伝統のある食文化を伝えていく機会や場があること	安心して子どもを生育できる環境が整っていること	地震、台風、火災などへの対策が十分整っていること	安全で安心な消費生活が送れること	地元で取れた新鮮な野菜や魚を食べられること	男女にかかわらず、社会のあらゆる分野で個性と能力を発揮できること	環境にやさしくエネルギー効率の高い次世代自動車の普及が進んでいること	太陽光発電の設置や再生可能エネルギー由来の電力への切り替えなど、再生可能エネルギーの導入や利用が進んでいること	自由な時間や休日が多く、ゆとりある生活ができること	道路の渋滞がないなど、自動車ですぐに目的地へ移動できること	きること	身域近の人の交流の場となるような、にぎわいのある商店街があること
全 体 (n=1,627)	① 40.8	② 33.7	③ 31.8	④ 30.6	⑤ 30.4	⑥ 28.7	⑦ 27.7	⑧ 26.9	⑨ 26.8	⑩ 26.1	⑪ 25.3	⑫ 25.1	⑬ 24.9	⑭ 24.8	⑮ 24.8	⑯ 24.8	⑰ 24.7	⑱ 24.6	⑲ 23.4	⑳ 23.4	㉑ 22.9	㉒ 22.7	㉓ 22.7	㉔ 21.6	㉕ 20.5	㉖ 18.5																			
男 性 (n= 727)	① 39.3	② 39.2		④ 33.1	③ 33.4														⑤ 27.9																										
女 性 (n= 809)	① 42.3	④ 29.7	② 35.1			③ 30.2		⑤ 28.6																																					
男性18～29歳 (n= 31)	⑤ 35.5	① 45.2			⑤ 35.5	⑤ 35.5	⑤ 35.5			② 41.9	⑤ 35.5				⑤ 35.5		⑤ 35.5		⑤ 35.5	⑤ 35.5					② 41.9	⑤ 35.5	④ 38.7																		
30歳代 (n= 73)	② 38.4	① 41.1	③ 34.2			⑤ 30.1										④ 31.5								⑤ 30.1																					
40歳代 (n= 122)	② 45.9	① 49.2	④ 34.4				④ 34.4			③ 35.2						④ 34.4																													
50歳代 (n= 179)	① 41.9	① 41.9	③ 31.3	④ 30.2	⑤ 29.1																																								
60歳代 (n= 146)	④ 39.0	① 41.8		② 40.4	② 40.4		⑤ 31.5						⑤ 31.5																																
70～74歳 (n= 76)	④ 38.2			① 50.0	③ 39.5										④ 38.2				② 40.8																										
75歳以上 (n= 100)	③ 30.0			② 31.0	① 33.0	④ 28.0			④ 28.0																																				
女性18～29歳 (n= 48)	③ 50.0		① 56.3							② 52.1					④ 41.7							④ 41.7																							
30歳代 (n= 105)	④ 39.0		① 57.1			⑤ 35.2	⑤ 35.2	③ 40.0		② 51.4																																			
40歳代 (n= 171)	① 48.0	④ 31.0	② 45.0			③ 34.5		⑤ 29.8																																					
50歳代 (n= 191)	① 40.3	③ 30.9		④ 30.4	② 31.4				⑤ 29.3																																				
60歳代 (n= 140)	① 45.7	② 30.0		④ 29.3				⑤ 28.6						② 30.0				⑤ 28.6					⑤ 28.6																						
70～74歳 (n= 45)				① 48.9	⑤ 40.0	③ 42.2								② 46.7		③ 42.2																													
75歳以上 (n= 106)	① 34.0						② 25.5				④ 24.5	② 25.5									⑤ 23.6																								

※各項目の性・年代別の状況については、県民ニーズ調査のホームページに掲載しています。

(県民ニーズ調査： <https://www.pref.kanagawa.jp/docs/h3e/cnt/f3489/>)